

## 第2回 帆船日本丸保存活用検討委員会

開催日時：平成22年3月17日（水） 午後2時30分～4時

場 所：日本丸訓練センター 第3会議室

出席者：（委員）

金谷委員、嶋田委員、庄司委員、高見沢委員、山本委員

（オブザーバー：財団法人帆船日本丸記念財団）

山本帆船日本丸船長、森総務部長

（事務局：横浜市港湾局）

みなと賑わい振興部賑わい振興課

金網部長、小賀野課長、小池係長、山田、辻

施設課

矢野課長、大橋係長、三枝木、坂本

次 第：議題

（1）第1回委員会のまとめ（議事録等の確認）

（2）帆船日本丸の保存について

→（2）に対する各委員の意見等は、次のとおり

### 各委員の意見等について

- 船そのもののおもしろさ、感動などをどのように見せられるか。船の保存という、本来あったものをそのままというのもあると思うが、どうしたらそのおもしろさを提供できるかを、専門家の知恵をもらいながら、演出ができれば良い。どの時刻、季節、目線で見せると効果的か考えることが、非常に大事だと思う。
- ライトアップにしても舳先にしても、周りから見えないといけませんが、周りの常緑樹で見にくくなっているなので、植物層を入れ替えてみる。
- 氷川丸は昼に汽笛を鳴らしている。日本丸も存在を知らしめるという意味で、汽笛を鳴らしたらどうか。
- 「日本丸にはこういうものがある。」と言えるようにする。
- 国際信号旗もPRに使用した方が良い。
- 日本丸にはストーリーがない。船員たちの訓練であれば、辛いこともあれば怖いこともあったと思うが、その辺が表現されていない。説明できる人が必要だ。表に出ると、新聞や雑誌、テレビもそういうことを発信してくれる。

- 日本丸も女性ファッション誌などの撮影に使われるよう広報してはどうか。また、その際には常に名前が出るようにしてもらうことが必要
- 「日本丸が危機に瀕している。保存かスクラップか。」という記事をあえて出して、誘致運動した人の自覚・責任を促すのが必要。再びみんなで盛り上げていく方がいい。
- 企画展などを載せてもらうため、新聞記者と懇意になることも大切
- 日本丸は情報提供がワンパターンになっているのではないか。市政記者クラブだけでなく、単独に売り込むなど、情報は2重、3重に提供する。
- ミニコミ紙の効果は大きい。細かい、おもしろい、関心のある人にだけに教えてあげると、みたいなものがあると、支持が倍になる。
- ホームページの動画で見せると広報費が高くなくても効果があるのではないか。
- 学生に聞いたら開港記念会館などで、結婚式ができるようにしてほしいという人がいた。日本丸でもニーズがあるのではないか。
- 汽笛がうるさいとかではなく、海の魂、文化を大切に、オンリーワンの世界をぜひ頑張らして開港してほしい。
- 企画者がいれば立地がいいので売り出せるのではないか。その場所や船にあった企画をすることで客が増える。最初の仕掛けを丹念に作ると随分違うと思う。
- 土日は社会人等に、平日は子どもたちに十分活用してもらう。
- 教育委員会と港湾局で連携すれば、有効な施設として市民に認められるのではないか。
- 周辺は人が多いのに関わらず、道路で隔絶されて賑わいが無い。自動車道からこちらの船に回り込む動線などを考えてはどうか。
- 赤レンガなどの歴史的建造物だけでなく、船の遺産や土木の遺構などが、横浜という街を作っている。ストーリーを体験でき、自然に人が来るようになると良い。
- 海辺を歩けるのが一番の売りだが、歩いたその先に何があるか提示が必要
- ぷかりさん橋はパシフィコの陰に隠れてもったいない。臨港パークは良いが、広くて行く機会がない。バンクーバーは素晴らしい自然のもとで、人間重視のネットワークができています。横浜の海岸線を見ると、工場地帯も多く、海から隔絶された生活になっている。ぷかり、臨港パーク、さらに言えば百貨店までとして、水辺を歩きながら、あちこち行けるような動線が必要
- 「総帆展帆」など、専門語は避けた方が良い。
- 保存をあと20年とすると、最低限やらないといけないことは何か。日本丸をどういう風に存続させるのか考えないといけない。人を入れるということは船が安全でなけれ

ばならない。お金の問題などがあるが、事業のために日本丸が必要だということを示す。

- 保存はするが、船検の必要性や、材料変更なども考えていかなければならない。
- 氷川丸は係留船であり、市指定文化財、有形文化財になっている。そのため、階段の拡張工事などは行っていない。日本丸でも今の資格以外を検討してはどうか。
- 希少価値を生み出す
- 船長や、一等航海士には制服を着て対応してほしい。相手との関係は、内容や話し方、見た目で決まる。特に見た目は3分で決まるので仕掛けをすべき
- 何百年も保存するのは、私たちもイメージが浮かびにくいので、まずは氷川丸程度の期間（100年）で考えてはどうか。現状のように海洋教室も開けるし、総帆展帆も見られる、そのようなイメージで考えたらどうか。